

この部屋を、お店にする

生活感を全部消す必要はありません。整えるのは、玄関からお部屋、お手洗いまでの「一本道」だけ。専用の部屋がなくても大丈夫です。間取りに合わせた3つのやり方と、当日の流れをまとめました。

1 通り道を、決める

玄関 → _____ → お手洗い → _____ → 玄関

☐ この道からは、他のお部屋の中が見えない

☐ 通り道にある扉は、当日すべて閉めておく

2 間取りに合わせて、やり方を選ぶ

どれでも始められます

タイプ1 常設

6畳ほどを、1部屋あけられる

- 机・椅子は置いたまま
- 扉を閉めれば、そこで完結
- 収納も部屋の中に置ける
- 準備は、拭き掃除だけ
- 家族の荷物は、他の部屋へ

タイプ2 いちばん多い

専用の部屋はない。
予約のときだけ設営する

- ダイニングテーブルを使う
- 高さ70cm前後は、ちょうどいい
- 道具は1箱にまとめておく
- 設営15分・片付け10分が目安
- テーブルクロスで生活感を消す

タイプ3 最小

部屋も、テーブルも小さい

- 折りたたみ机（幅90cm）
- 道具はワゴン1台に集約
- ライトはクランプ式で省スペース
- 座布団＋座椅子でも成立
- 必要なのは縦225×横120cm

タイプ2の方へ。毎回の設営が負担にならないよう、置く物の定位置を先に決めて、写真を1枚撮っておくと早くなります。次からはその写真を見ながら並べるだけ。道具はふた付きの箱1つにまとめ、使うときだけ出します。

3 場所ごとに、整える

通る場所だけでいい

玄関

- 家族の靴をしまう（3足まで）
- スリッパを、そろえて出しておく
- 荷物を置ける場所をつくる

お手洗い・洗面所

- ハンドソープとタオルを新しく
- 家族のものは見えない場所へ
- 予備のペーパーが見える所に

施術する場所

- 手元が明るいか（デスクライト）
- お客様の足元に、余裕を残す
- コートと荷物の置き場所

広さの目安

- 一人で営むなら6畳ほどが目安
- 最低2畳あれば施術はできる
- お待ちいただく場所は不要
（予約時間を重ねなければ）

4 当日の流れと、チェック

呼び鈴から、お見送りまで

STEP 0

前日～当日の朝

用意するもの：掃除道具・新しいタオル・ゴミ袋

- ☐ 通り道を、お客様の目線で1回歩いてみる
- ☐ 洗面所のタオルを新しいものに替える
- ☐ 通り道の扉をすべて閉める／閉める順番を決めておく
- ☐ 家族に、時間と人数を伝えておく
- ☐ 道具を出して、使う順に並べる

家族への一言：「〇時から〇時まで、お客様が1名いらっしゃいます」

STEP 1

呼び鈴～お迎え

用意するもの：スリッパ・コート掛け・荷物がこ

- ☐ 玄関の靴を3足以内に作る（当日の朝に）
- ☐ スリッパを、お客様の向きにそろえて置く
- ☐ 笑顔で扉を開け、先に名前をお呼びする

「〇〇さま、お待ちしております。どうぞお上がください」

STEP 2

ご案内～着席

用意するもの：ひざ掛け・クッション・お飲み物

- ☐ 先に歩いて、道を示しながらご案内する
- ☐ コートと荷物の置き場所を、手で示す
- ☐ 椅子の高さと、足元の余裕を確認する
- ☐ お手洗いの場所を、この時点でお伝えする

「お手洗いはこちらです。ご自由にお使いください」

STEP 3

カウンセリング

用意するもの：カルテ・デザイン見本・タブレット

- ☐ 爪の状態を見て、気になる点を確認する
- ☐ ご希望のデザインを、画像で見せていただく
- ☐ できること・できないことを、先に正直に伝える
- ☐ 所要時間と、お会計の金額をお伝えする

「うちの在庫でできるところまで、一緒に近づけていきますね」

STEP 4

施術中

用意するもの：デスクライト・ダストブラシ・お手拭き

- ☐ 手元の明るさを、もう一度確認する
- ☐ 30～40分に一度、休憩の声をかける
- ☐ 会話は、お客様のペースに合わせる（無理に続けない）
- ☐ 生活音がしたら、ひとこと添えて流す

「少し手を休めましょうか。お手洗ひもどうぞ」

STEP 5

仕上がり～お会計

用意するもの：手鏡・会計の準備・次回予約カード

- ☐ 両手を見ていただき、気になる点を伺う
- ☐ オイルの塗り方と、持たせるコツをお伝えする
- ☐ お会計（おつりは、先に用意しておく）
- ☐ 次回のご予約を、その場でお伺いする

「よろしければ、次回のご予約も承れます」

STEP 6

お見送り～片付け

用意するもの：口コミのQRカード・消毒用品

- ☐ 玄関まで出て、扉を開けてお見送りする
- ☐ 口コミのお願いは、無理のない範囲で一度だけ
- ☐ 道具と机を消毒し、次に使う形に戻す
- ☐ カルテに、使った色と会話を書き留める

「よろしければ、感想を書いていただけたら嬉しいです」

5 先に、書いておくこと

隠さないほうが、合う方が来てくださいます

- ☐ 自宅の一室であること
- ☐ 子どもの声が聞こえる日があること
- ☐ 家族の急な体調不良で、日程の変更をお願いする場合があること
- ☐ 詳しい住所は、ご予約が決まってからお伝えすること

予約ページに載せる文章を、書いてみる

非日常を求める方は、はじめから自宅サロンを選びません。来てくださるのは、**気軽に試したい方**。だからこそ、安さではなく **「聞いてもらえる」「合わせてもらえる」** で応えられます。